

平成 16年 3月期 第 1四半期業績の概況 (連結)

平成 15年 7月 29日

上場会社名 株式会社 ノリタケカンパニーリミテド

(コード番号 : 5331 東証第一部)

(URL <http://www.noritake.co.jp/>)

(上場取引所 : 東 大 名 札)

代 表 者  
問合せ先責任者

代表取締役社長  
財 務 部 長

岩 崎 隆  
山 田 耕 三

(TEL:(052)- 561- 7115)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 有 引当金の計上等に一部簡便的な方法を採用しております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 有

連結子会社数 46社 1社増加 (株式会社ノリタケTCF)  
1社減少 (松阪ノリタケ株式会社)

持分法適用関連会社数 1社 1社減少 (東セラエンジニアリング株式会社)

監査法人による監査は受けておりません。

2. 平成 16年 3月期第 1四半期の業績概況 (平成 15年 4月 1日 ~ 平成 15年 6月 30日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況

(注) 金額の百万円未満は切り捨て

	売上高		営業利益		経常利益		当期(四半期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年 3月期第 1四半期	27,301	-	810	-	1,023	-	385	-
15年 3月期第 1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考) 15年 3月期	110,857	6.2	2,694	14.2	3,167	9.0	409	68.4

	1株当たり当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
16年 3月期第 1四半期	2	49	-	-
15年 3月期第 1四半期	-	-	-	-
(参考) 15年 3月期	2	57	-	-

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同期比の増減率  
15年 3月期は四半期業績資料を作成していないため、対前年同期比較をしておりません。

(2) 財政状態 (連結) の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年 3月期第 1四半期	120,715	60,423	50.1	389 82
15年 3月期第 1四半期	-	-	-	- -
(参考) 15年 3月期	119,466	59,378	49.7	383 02

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年 3月期第 1四半期	176	227	1,816	9,020
15年 3月期第 1四半期	-	-	-	-
(参考) 15年 3月期	8,088	2,184	7,143	10,745

3. 平成 16年 3月期の連結業績予想 (平成 15年 4月 1日 ~ 平成 16年 3月 31日)

中間期、通期とも、平成 15年 5月 20日の平成 15年 3月期発表時の予想を変更しておりません。

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中 間 期	55,000	1,800	800	5 16
通 期	112,000	4,000	1,900	12 26

(注) 1株当たり予想当期純利益の計算は、予想年間期中平均発行済株式数によっております。

\* 業績見通しにつきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいております。今後発生する状況の変化によっては異なる結果となることも予想されますので、投資等の判断材料として全面的に依拠されることは差し控えてください。

なお、上記の予想の前提条件その他の関連する事項については添付資料 1ページの (4) 当期の業績予想を参照してください。

## 平成16年3月期 第1四半期業績の概況(連結)

### (1)経営成績

当四半期は、国内、海外共に市況の低迷が続きましたが、焼成炉事業におけるM&Aと経営全般にわたる合理化努力によって、予定通りの経営成績を達成することができました。売上高は27,301百万円、経常利益は1,023百万円、当四半期純利益は385百万円であります。平成15年6月に株式会社ノリタケT C Fが連結子会社となったことにもない、売上高が1,069百万円増加しました。

### (セグメント別の概況)

#### 工業機材事業部門

自動車関連向けが国内、輸出ともに堅調であり、鉄鋼、ベアリング業界向けも回復が見られた一方、情報関連や公共工事関連は低調であったため、部門売上高は微増基調となりました。

#### 食器事業部門

北米市場と国内市場において個人消費が低迷し、欧州、アジア市場においても航空機業界及びホテル・レストラン向けの需要が減少したため、部門売上高は減少傾向となりました。

#### 電子事業部門

価格低下の影響を受けたほか北米及び欧州市場の回復が進まなかったことから、高機能商品の販売増はあったものの、部門売上高は減少傾向となりました。

#### セラミック・マテリアル事業部門

電子ペーストの売上が伸長したほかデンタル資材、共立マテリアルなども堅調に推移し、セラミック部品などは低調であったものの、部門売上高は増加基調で推移しました。

#### 環境エンジニアリング事業部門

アジア市場における需要が活発化する中でSARSの影響による出荷遅れが一部発生しましたが、株式会社ノリタケT C Fの連結加入があったため部門売上高は増加しました。

### (2)財政状態

総資産は前連結会計年度末に比べ1,248百万円増加して120,715百万円となりました。投資有価証券の時価総額が増えたことが主な要因です。前連結会計年度末に比べ負債は258百万円減少し、少数株主持分は462百万円増加しました。株主資本は投資有価証券の評価差額金による増加が主な要因となって前連結会計年度末に比べ1,044百万円増加しました。

### (3)キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フローについては、税金等調整前当期純利益が1,192百万円、減価償却費が832百万円ありましたが、法人税等の支払が1,273百万円あったことや財務活動において短期借入金の返済1,066百万円、配当金の支払697百万円などがあったため、当四半期における現金及び現金同等物の期末残高は、1,725百万円減少して9,020百万円となりました。

### (4)当期の業績予想

当期の市場環境は今後とも厳しい状況が続くものと予想されますが、当四半期の業績が当初の計画通りであったこと、また受注残高、引合い状況も予定通りであることから、当期の中間期及び通期の連結業績についてもそれぞれ当初予想した売上と利益を確保できるものと見込んでおります。

## 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第1四半期末 (平成15年6月30日現在)		前連結会計年度末 (平成15年3月31日現在)		対 前 期 末 増 減 ( )	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	対前期比
(資産の部)		%		%		%
流動資産						
現金及び預金	9,697		11,451		1,753	
受取手形及び売掛金	29,303		29,238		65	
たな卸資産	17,811		16,507		1,303	
その他	5,129		4,982		146	
流動資産合計	61,942	51.3	62,180	52.0	238	0.4
固定資産						
有形固定資産	38,007	31.5	38,170	32.0	163	0.4
無形固定資産	213	0.2	186	0.2	27	14.8
投資その他の資産	20,551	17.0	18,929	15.8	1,622	8.6
固定資産合計	58,772	48.7	57,286	48.0	1,486	2.6
資産合計	120,715	100.0	119,466	100.0	1,248	1.0
(負債の部)						
流動負債						
支払手形及び買掛金	14,432		13,950		481	
短期借入金	19,155		19,784		629	
未払費用	1,515		811		704	
その他	4,197		5,003		806	
流動負債合計	39,300	32.6	39,549	33.1	249	0.6
固定負債						
長期借入金	6,854		6,866		11	
退職給付引当金	5,203		5,046		157	
その他	2,693		2,848		155	
固定負債合計	14,751	12.2	14,760	12.4	9	0.1
負債合計	54,051	44.8	54,310	45.5	258	0.5
少数株主持分	6,240	5.1	5,778	4.8	462	8.0
(資本の部)						
資本金	15,632	12.9	15,632	13.1	-	-
資本剰余金	18,833	15.6	18,833	15.8	-	-
利益剰余金	28,623	23.7	28,940	24.2	316	1.1
その他有価証券評価差額金	2,752	2.3	1,455	1.2	1,297	89.2
為替換算調整勘定	4,158	3.4	4,227	3.5	69	1.6
自己株式	1,260	1.0	1,254	1.1	5	0.4
資本合計	60,423	50.1	59,378	49.7	1,044	1.8
負債・少数株主持分及び資本合計	120,715	100.0	119,466	100.0	1,248	1.0

(注) 前年第1四半期末については、四半期決算を行っていないため記載しておりません。

## 要約連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	当 第 1 四 半 期		前連結会計年度	
		自平成15年4月 1日 至平成15年6月30日		自平成14年4月 1日 至平成15年3月31日	
		金 額	比 率	金 額	比 率
			%		%
売 上	高	27,301	100.0	110,857	100.0
売 上 原 価	価	18,906	69.2	76,994	69.5
売 上 総 利 益	益	8,394	30.8	33,862	30.5
販売費及び一般管理費		7,584	27.8	31,168	28.1
営 業 利 益	益	810	3.0	2,694	2.4
営 業 外 収 益		299	1.1	1,012	0.9
受 取 利 息	息	16		72	
受 取 配 当 金	金	92		228	
受 取 賃 料	料	23		76	
連結調整勘定償却額	却 額	76		348	
そ の 他	他	89		286	
営 業 外 費 用		85	0.3	539	0.4
支 払 利 息	息	49		267	
そ の 他	他	36		271	
経 常 利 益	益	1,023	3.8	3,167	2.9
特 別 利 益		285	1.0	2,063	1.9
固 定 資 産 売 却 益	益	214		286	
投 資 有 価 証 券 売 却 益	益	-		889	
退 職 給 付 信 託 設 定 益	益	-		725	
そ の 他	他	71		162	
特 別 損 失		117	0.4	3,283	3.0
固 定 資 産 処 分 損	損	56		677	
投 資 有 価 証 券 評 価 損	損	2		1,568	
特 別 退 職 金	金	-		463	
そ の 他	他	58		574	
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	益	1,192	4.4	1,947	1.8
法 人 税 等		650	2.4	1,541	1.4
少 数 株 主 損 益	益	(減算) 155	0.6	(加算) 3	0.0
当 期 純 利 益	益	385	1.4	409	0.4

(注)前年第1四半期については、四半期決算を行っていないため記載しておりません。

## 要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	
	当 第 1 四 半 期 自平成15年4月 1日 至平成15年6月30日	前連結会計年度 自平成14年4月 1日 至平成15年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー		
1. 税金等調整前当期純利益	1,192	1,947
2. 減価償却費	832	3,707
3. 退職給付引当金の増減	80	1,799
4. 役員退職慰労引当金の増減	154	360
5. 受取利息及び配当金	109	300
6. 支払利息	49	267
7. 連結調整勘定償却額	76	348
8. 有価証券及び投資有価証券売却損益	2	889
9. 有価証券及び投資有価証券評価損	3	1,568
10. 有形及び無形固定資産除売却損益	157	391
11. 売上債権の増減	911	2,101
12. たな卸資産の増減	880	4,089
13. 仕入債務の増減	145	1,804
14. その他	152	421
小計	1,391	8,991
15. 利息及び配当金の受取額	110	306
16. 利息の支払額	51	231
17. 法人税等の支払額	1,273	978
営業活動によるキャッシュ・フロー	176	8,088
投資活動によるキャッシュ・フロー		
1. 有形及び無形固定資産の取得による支出	680	3,749
2. 有形及び無形固定資産の売却による収入	618	362
3. 投資有価証券の取得による支出	0	91
4. 投資有価証券の売却による収入	22	1,240
5. 貸付金の回収による収入	2	37
6. 連結子会社の株式の追加取得による支出	44	14
7. 新規連結子会社の株式取得に伴う収入(支出：)	258	368
8. その他	113	399
投資活動によるキャッシュ・フロー	227	2,184
財務活動によるキャッシュ・フロー		
1. 短期借入金の純減少額	1,066	5,099
2. 長期借入金の借入による収入	-	1,217
3. 長期借入金の返済による支出	4	386
4. 自己株式の取得による支出	0	1,239
5. 配当金の支払額	697	1,425
6. その他	46	209
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,816	7,143
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	99
現金及び現金同等物の増減額	1,871	1,338
現金及び現金同等物の期首残高	10,745	11,632
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	146	451
現金及び現金同等物の期末残高	9,020	10,745

(注)前年第1四半期については、四半期決算を行っていないため記載しておりません。

## 事業の種類別セグメント情報

<当第1四半期>

(単位：百万円)

自平成15年4月 1日 至平成15年6月30日	工業機材	食 器	電 子	セラミック・ マテリアル	環 境 エンジニアリング	計	消去又 は全社	連結
売上高及び営業損益								
売 上 高								
(1)外部顧客に対する売上高	9,808	5,530	2,530	6,163	3,267	27,301	-	27,301
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	25	22	0	158	36	243	(243)	-
計	9,834	5,552	2,531	6,322	3,304	27,544	(243)	27,301
営 業 費 用	8,662	5,402	2,340	5,662	3,450	25,519	971	26,490
営業利益又は営業損失( )	1,171	149	190	659	145	2,025	(1,215)	810

(注) 前年第1四半期については、四半期決算を行っていないため記載しておりません。

また、当連結会計年度より、食器事業、電子事業、セラミック・マテリアル事業、環境エンジニアリング事業及び全社で商品区分の異動を行っており、(参考)の<前連結会計年度>にはその影響を反映させております。

(参考)

<前連結会計年度>

(単位：百万円)

自平成14年4月 1日 至平成15年3月31日	工業機材	食 器	電 子	セラミック・ マテリアル	環 境 エンジニアリング	計	消去又 は全社	連結
売上高及び営業損益								
売 上 高								
(1)外部顧客に対する売上高	39,205	24,980	10,960	24,431	11,278	110,857	-	110,857
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	89	84	0	518	63	755	(755)	-
計	39,294	25,065	10,960	24,950	11,342	111,613	(755)	110,857
営 業 費 用	34,654	24,188	10,469	22,894	11,457	103,664	4,497	108,162
営業利益又は営業損失( )	4,640	877	490	2,055	115	7,948	(5,253)	2,694